

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	各種文化団体活動支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	恩田 一成			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内文化団体	意図	団体が文化活動しやすい環境づくりを支援し、活動の拡大普及を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育関係団体登録の受付、更新手続き。</li> <li>・登録団体等の情報提供。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度から事業として位置付けている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	社会関係団体登録	240	241	190	団体	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
今後も引き続き団体登録の推進を進めて行きたい。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	376,500	343,250	335,600
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)			
人役・職員(人)	0.05	0.05	0.05
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	有効期限を迎える団体への連絡及び更新の促進。生涯学習部内での情報共有。	③取組の課題	活動が活発化するような社会教育関係団体への支援のあり方を検討する。
②今年度(H29)に実施した取組	イベント・会員募集について、HPを活用したタイムリーな情報提供を行った。生涯学習部での登録数・実態を精査した。	④今後(H30以降)の改善計画	既存の登録団体に加え、新しい分野の活動団体や中若年層の団体に対しても範囲を広げ周知・登録を促す。